

NCWG Cloud Application Group

2014年度報告と2015年度計画

部会長 前本 知志

クラウドアプリケーション部会について

今やクラウド上でサービスを提供するアプリケーションは私たちの生活に欠かせないレベルにまで浸透してきております。

日々進化してかたちを変えてゆくクラウドアプリケーションの世界において、価値ある新しいアプリケーションを提供するにはどうすればよいのでしょうか。

この部会ではそのための方法や新しいアイデアなどを開発者の立場から追及し情報共有する場として積極的な活動を行って参ります。

アプリケーション開発者のためのグループです

写真みつかるPJ支援

2011.3.11

東日本大震災

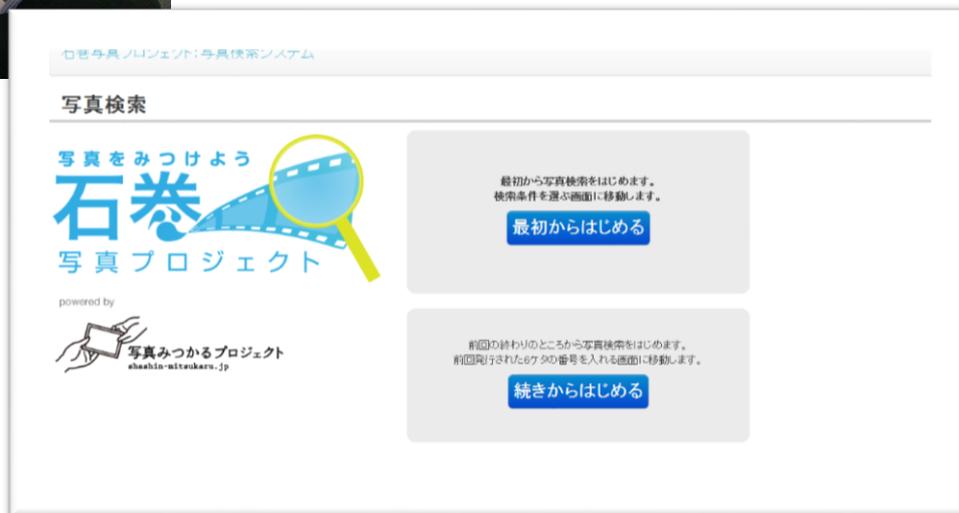


津波に流された写真



東日本大震災で津波に流された石巻の80万枚の写真。
デジタルデータとして復元された写真の検索システムの開発を支援しました。

写真みつかるPJ支援



NCWGクラウドアプリケーション部会と写真みつかるPJで共同開発した写真検索システムが4月より石巻市で稼働して、被災者の方に思い出を届けています。

社会的に意義ある活動ができました



明日の天気
東京

TOP 社会 政治 経済 国際 スポーツ 芸能 ▼ニュース特集 気になる

テレビ朝日news > 社会ニュース > ニュース記事

津波で流された写真、位牌…最後の展示始まる (03/01 17:48)

ANN NEWS

津波が奪った「思い出の品」
3年の節目で…最後の展示

再生する

ツイート mixi チェック f シェア BI ブログに書く? 使い方は?

東日本大震災の津波で流された写真や位牌(いはい)など、いわゆる「思い出の品」の最後の展示が宮城県石巻市で始まりました。

多くの命とともに家や生活の場を奪った巨大な津波。生きた時間の証ものがれきの中に埋もれていました。石巻市では、約80万枚の写真が回収され、これまでに23万枚余りが持ち主に返却されました。しかし、まだ保管している分は、時間の経過とともに状態が悪化していることから、震災3年の節目に最終展示をしたうえで処分することになりました。

探しに来た人：「(震災前は)写真がいっぱいあった。1枚でも残っていればと思って」「探したか
いがあった。来たかいがありました」

最終展示は今月11日までで、持ち主が現れなかった品は供養したうえで処分されます。

石巻市では3月11日に現物写真の展示が終了し、処分されることになることが報道されました。

現在は写真見つけるPJとクラウドApp部会で開発した写真検索システムが、被災者の方が思い出にアクセスする唯一の手段となっています。

http://news.tv-asahi.co.jp/news_society/articles/000022386.html

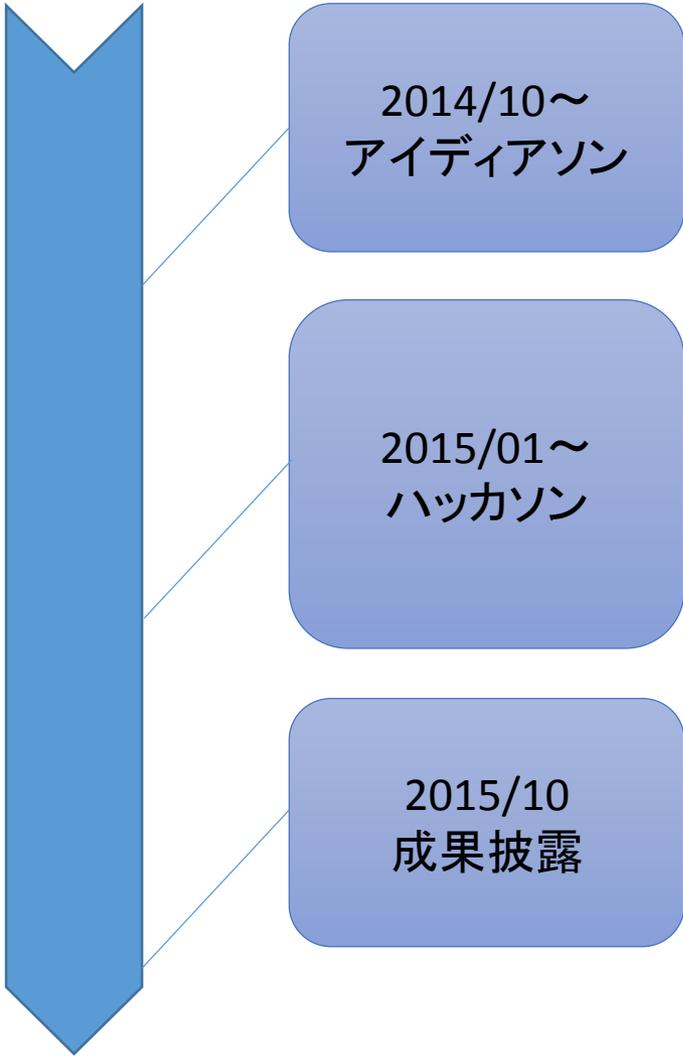
クラウドアプリケーション開発 2015

クラウドを核としたアプリケーション開発について研究します。
研究成果として日本最大のソフトウェア開発コンテストである
「マッシュアップアワード」へチームとして参戦する予定です。



※余談
部会長はマッシュアップアワード7で受賞経験がございます。

2015年度の予定



2014/10～
アイデアソン

研究テーマとなるアイデアを
出し合います。

2015/01～
ハッカソン

アイデアを共同でかたちにします。

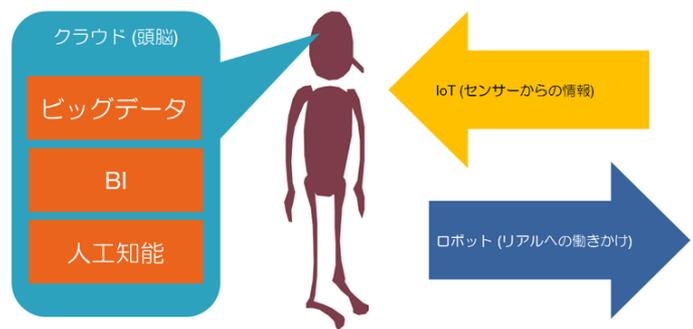
2015/10
成果披露

Mashup Awardsなどのコンテストへ作品
を応募し、評価を受けます。

研究テーマ(案)

来るべきIoT時代に対応すべく、頭脳としてのクラウドの役割を極める！

IoTは感覚器、クラウドは頭脳、ロボットは手足



© 2009-14, all rights reserved by NetCommerce & applied marketing

NetCommerce applied marketing

センサーからの入力データをクラウドで処理するスタイルは2013年のサムライクラウド部会で開発済なので例えば、

- 頭脳としてビッグデータ・BI等の研究を進める
- サムライクラウドの認証基盤をIoTへ適用する
- アウトプットとしてロボットをコントロールする

アイデアソンの様子

2014年10月17日 第一回アイデアソンを開催しました！



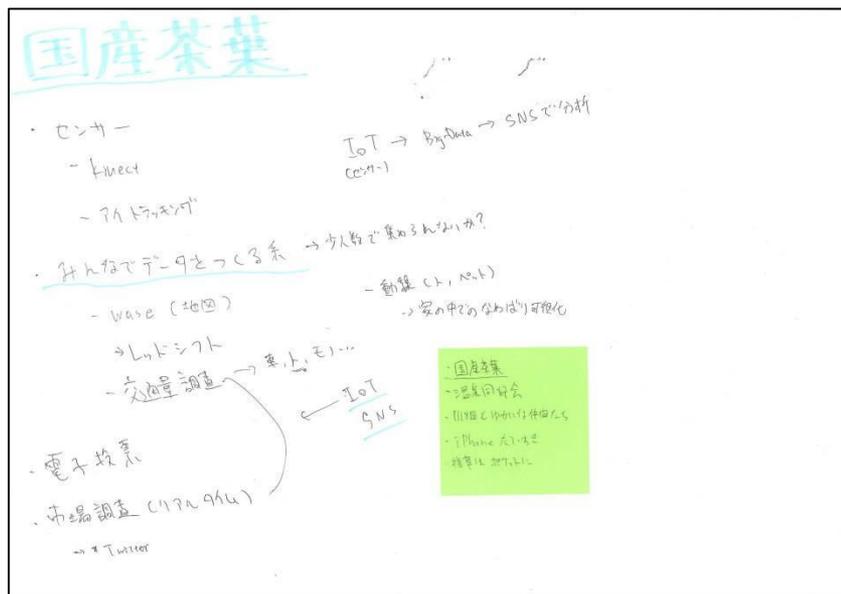
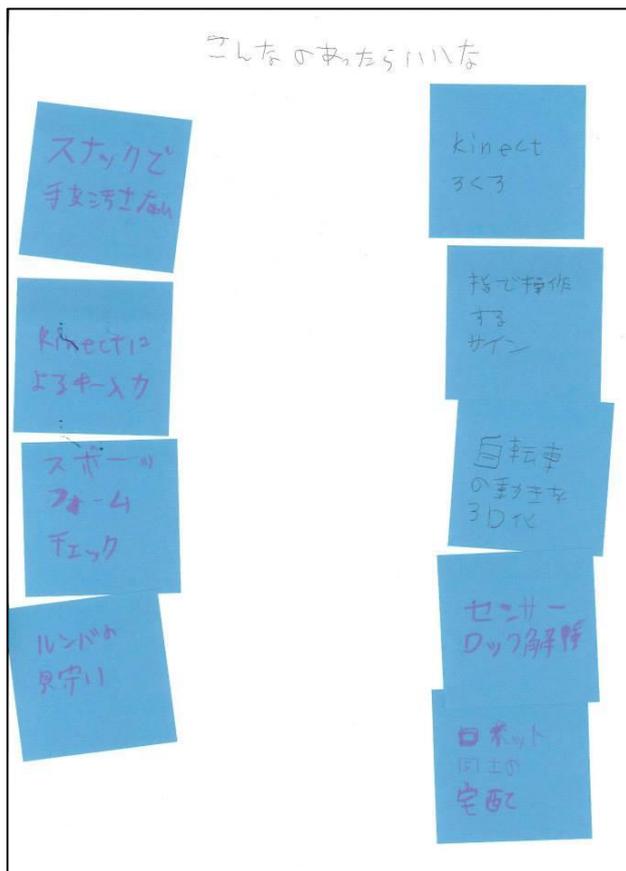
内容

1. アイスブレイク・自己紹介
2. サムライクラウドとは
3. チーム分け
4. アイデア出し
5. プレゼンテーション



アイデアソンの様子

2チームに分かれてアイデア出しを行いました。
クラウドを核にIoT、センサーやロボットに繋がるようなアイデアも多く出されました。



今後の展開

次回以降のアイディアソンでさらにアイディアを洗練し、研究テーマを決定します。

普段の業務では手掛けることが難しい分野であっても、参加者が主体的に興味を持って追及したいと思えるテーマを重視してゆきたいと思います。

次回以降の部会にもどうぞご参加ください。

NCWG Cloud Application Group